

■ 58.. 機能性ポーラス材料研究会

設置期間 2008年3月～2013年2月まで（期間延長）

近年、ポーラス金属の気孔の方向やサイズを制御するための研究が盛んに行われている。気孔形態がナノ・マイクロ・ミリメートルサイズで制御されたポーラス金属は、エネルギー吸収材料や吸音材料としての応用だけでなく、生体材料等への新たな応用可能性も見出されている。このような背景を受け、ポーラス金属の研究活動は国際的にも益々活発になると同時に、産業界からの実用化への関心は年々高まりつつある。近年の我が国におけるポーラス金属研究の発展は顕著であり、それを受けて、第1～3回までドイツで開催されていたポーラス金属の代表的な国際会議「セル構造材料およびポーラス金属国際会議－MetFoam」が、2005年に京都で開催されるなど、日本におけるポーラス金属研究は国際的にも高い評価を得てきている。しかしながら、国内でのポーラス金属に対する組織だった研究会などはこれまであまり活発に行われてこなかったのが現状であり、ポーラス金属研究の更なる発展のためには、第一線の研究者が相互に情報交換し、有機的に研究協力を推進できるような機会を作ることが重要である。このような背景から、我が国におけるポーラス金属研究の一層のレベルアップを目的に、分科会研究グループ「ポーラス金属研究会」を申請し活動する。

代表世話人：中嶋 英雄（大阪大学産業科学研究所教授）

TEL 06-6879-8435 Fax : 06-6879-8439

E-mail : nakajima@sanken.osaka-u.ac.jp

発起人：多根 正和（大阪大学 産業科学研究所准教授）

TEL : 06-6879-8437 Fax : 06-6879-8439

E-mail : mtane@sanken.osaka-u.ac.jp